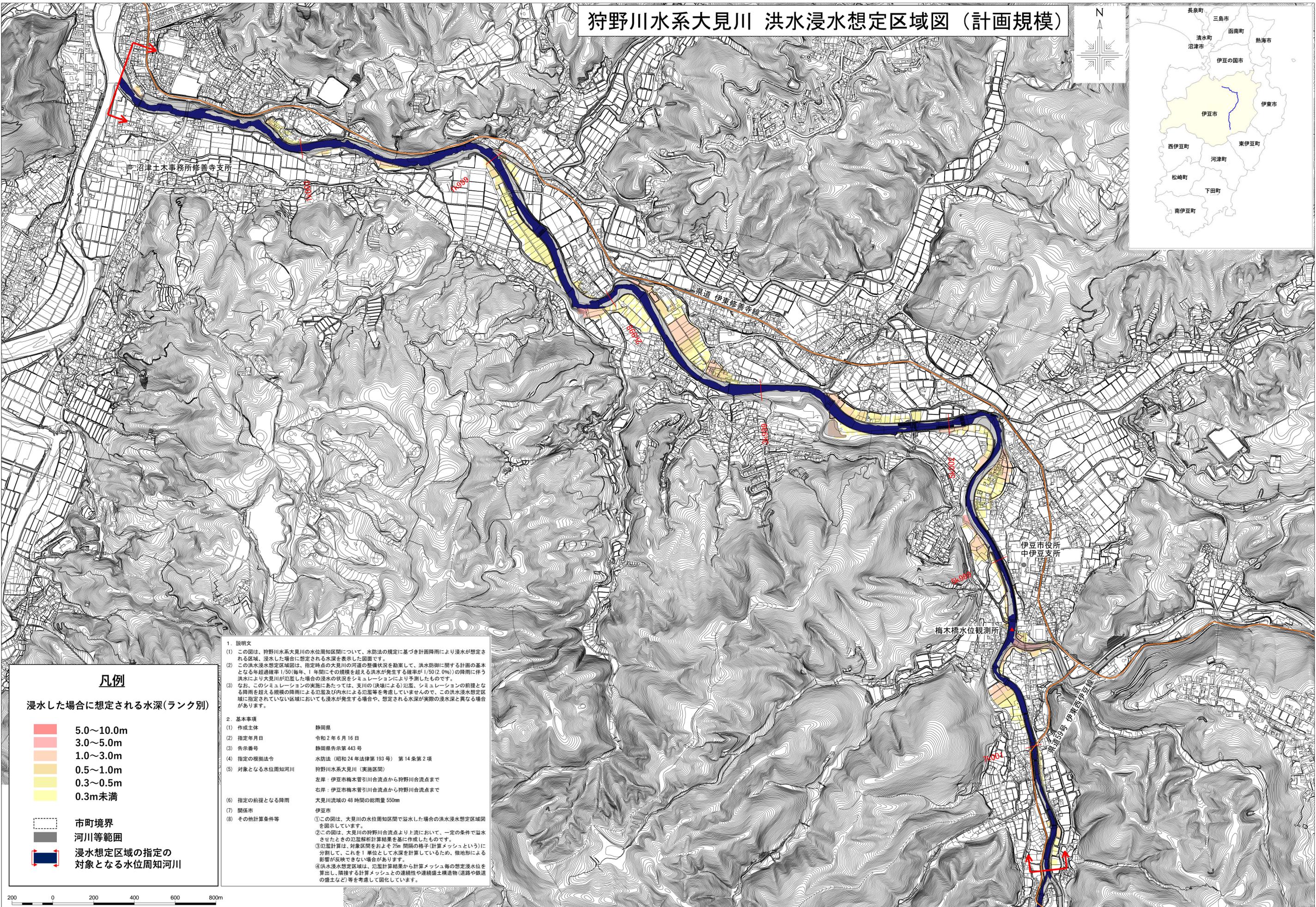


狩野川水系大見川 洪水浸水想定区域図（計画規模）



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

	5.0~10.0m
	3.0~5.0m
	1.0~3.0m
	0.5~1.0m
	0.3~0.5m
	0.3m未満

市町境界
 河川等範囲
 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

1. 説明文
 (1) この図は、狩野川水系大見川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の大見川の河道の整備状況を勘案して、洪水防制に関する計画の基本となる年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2.0%))の降雨に伴う洪水により大見川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前報となる降雨を超える規模の降雨による氾濫及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項
 (1) 作成主体 静岡県
 (2) 指定年月日 令和2年6月16日
 (3) 告示番号 静岡県告示第443号
 (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 (5) 対象となる水位周知河川 狩野川水系大見川(実施区間)
 左岸: 伊豆市梅木管引川合流点から狩野川合流点まで
 右岸: 伊豆市梅木管引川合流点から狩野川合流点まで
 大見川流域の48時間の総雨量550mm
 (6) 指定の前報となる降雨 伊豆市
 (7) 関係市 伊豆市
 (8) その他計算条件等
 ①この図は、大見川の水位周知区間で浸水した場合の洪水浸水想定区域図を表示しています。
 ②この図は、大見川の狩野川合流点より上流において、一定の条件で溢水させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
 ③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
 ④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水深を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性及び連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。